

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
松元 一明			
B (経営学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	<p>少子高齢社会における地域課題の多様化、複雑化に対応するためには、行政の施策のみならず、市民や企業による公益的な事業や活動が不可欠である。</p> <p>演習では、地域の課題解決や魅力ある地域づくり・まちづくりをおこなう様々な組織（地域団体、市民活動団体、ボランティア、NPO、コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスなど）に着目し、その役割と展開について学ぶことを目的とする。以上の学びを通じて、ディプロマポリシーに記載のある「大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢」を学生が身に着けることをねらいとしている。</p>		
授業計画	<p>地域づくり・まちづくりに関する市民活動、NPO、コミュニティビジネス等の調査、研究をおこなう。対象地域は、上信電鉄沿線を主としながらも、必要に応じて全国各地の事例を対象とする。調査、研究の主な対象は、地域の課題解決や魅力ある地域づくり・まちづくりに取り組む市民や市民活動団体、NPOなどである。</p> <p>地域づくりやまちづくりなど、市民による公益的な活動の基礎的な知識と実践知の獲得を通して、演習Ⅱの卒業研究、卒論の基礎力を身につける（研究テーマの見つけ方、論文の書き方、卒論のアウトラインの立て方を含む）。</p> <p>第1回～第4回「遠隔講義」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献や資料を活用した、地域づくり・まちづくりに関する基礎的な知識の獲得（8回） ・企画、調査を含めた地域活動などへの参加、参画やフィールドワークを通じた実践的学習（7回） <p>後期の「経営学課題研究」とあわせて複合的に実施する。</p> <p>予習（時間）：毎回、事前学習の指示をする。（60～120） 復習（時間）：演習で学習した内容の再確認、またレポートなどを指示する。（60～180）</p> <p>前期のまとめと個人発表、フィールドワークのために、夏季休暇中にゼミ合宿をおこなう（関東近郊、2泊、交通費10,000円以内、宿泊費20,000円以内）</p>		
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP (小学科) の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>4. 大学での学びを地域に還元し、価値を創造する姿勢</p> <p>DP (経営学科) の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>2. 地域における経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）を多面的に理解し、活用できる能力</p> <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力</p>		
到達目標	<p>(1) 地域づくり、まちづくりといった市民による公益的な活動の実態を知ること</p> <p>(2) 地域づくり、まちづくりに実際に参加することなどを通じて企画、提案力を身に着けること</p> <p>(3) 以上の学びを通じて、「経営学課題研究（4年ゼミ）」の下地をつくること</p>		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出された課題については、修正などの記入の上返却する。		
履修上の注意	地域やコミュニティ、まちづくりがテーマのゼミであるので、フィールドワークやボランティアを含む地域活動への参加が必須である。フィールドワークは上信電鉄沿線、関東圏への日帰り（費用は5,000円以内）を数回予定しているが、学生と相談の上、行き先を決定する。		
成績評価の方法・基準	<p>フィールドワークやイベント参加を含めた学修意欲（40%）</p> <p>課題、レポートの提出（40%）</p> <p>研究計画の立案と発表（20%）</p>		
教科書	魅力創造するマーケティングの知—地域再生とデザイン—の視座 著者名：上原聡 編著 出版社：同友館 発行年：2017年 価格：2200円（税別）		
参考書・教材	【参考書】資料やレジュメなどは適宜配布する。		
備考	演習科目		
教員との連絡方法	「Melly」ならびに「メール」（アドレスは授業内で周知）		